

日本企業のグローバル広報を考える

「日本企業のグローバル広報;現状、課題と留意点 —官民での経験を踏まえて—」

2020年12月10日

講師：田中 径子 日産フィナンシャルサービス 執行役員

経済広報センターは2020年12月10日、「日本企業のグローバル広報;現状、課題と留意点—官民での経験を踏まえて—」と題するオンライン講演会を開催した。

講師の田中径子氏は、日産自動車本社ならびに北米日産ワシントン事務所で広報を経験し、社長専属広報も務めた。その後、ジャスコ役員を経て駐ウルグアイ特命全権大使として活躍した経験をもとに、日常の実務からグローバル広報体制に至るまでの幅広い内容に関して率直な考えを披露した。

田中氏が最も強調したのは、企業のグローバル化に伴う社内広報の重要性であり、企業が大きな変革期にあるほど、社内広報が果たすべき役割の重要性が増すと指摘した。

また、現地法人の広報人材の活用も重要とし、例えば本社で行っている業務を任せたり、日本を含めた社内異動を経験させたりすることは、将来を見据えた戦略的人材育成や、現地法人社員のロイヤリティーの向上にも役立つと指摘した。

さらに、グローバルにリーダーシップを発揮するには語学が堪能であることも大事だが、それ以上に重要なのはグローバルなマインドセットであると述べ、他国の異なるものを受け入れる度量とフレキシビリティを持つことが、グローバル広報の基本であるとして講演を締めくくった。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。